



三菱電機パッケージエアコン別売部品
フィルターユニット
(HEPAフィルター用)

形名

PAC-CF41CLB

PAC-CF42CLB

PAC-CF43CLB

PAC-CC91CLB

PAC-CC92CLB

PAC-CC93CLB

取付説明書

取付完了後はこの「取付説明書」を大切に保存してください。移設など重サービスを行うとき、きっとお役に立ちます。

取付説明書内で、安全のため必ず守っていただく項目を △警告 △注意の形で記載しました。

取付けの前には、安全を確保するために、必ずこの「取付説明書」をよくお読みください。

安全のために必ず守ること

- 取付工事はこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に守ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して表示しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に、取付説明書にそってお客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れなどについて説明してください。
- 取付説明書は取扱説明書・保証書と共に、お客様で保管いただくよう依頼してください。お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- ご自分で取付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。

改造はしない。

- 改造し不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。

据付けは、製品重量に十分耐える所に確実に行う。

- 強度が不足している場合は、製品の落下・転倒等によるケガの原因になります。

取付工事は取付説明書に従って確実にを行う。

- 取付けに不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。

お客様自身で分解・修理・移設はしない。

- 修理・移設等に不備があると、爆発・火災・感電・水漏れ等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。

台風などの強風・地震等に備え、所定の据付工事を行う。

- 据付工事に不備があると、製品の落下・転倒等によるケガの原因になります。

注意

製品内部の金属エッジに素手で触れない。

- ケガの原因になります。

製品の運搬には十分注意する。

- 20kg以上の製品の運搬は、一人では行わないでください。製品の破損および健康を害する原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になります。

据付台等が傷んだ状態で放置しない。

- 製品の落下につながり、ケガの原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。

- 必ず5分以上経過後に電源を切ってください。すぐに電源を切ると、故障や水漏れの原因になります。

各配線は、張力がかからないように配線工事をする。

- 張力がかかると、発熱・火災・断線等の原因になります。

エアフィルターを外したまま運転しない。

- ユニット内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。

定期的にHEPAフィルターの点検を行う。

- 油の含まれる環境で運転を続けるとHEPAフィルターが変色劣化する原因になります。定期的に点検を行い、変色劣化が認められた場合にはHEPAフィルターの交換を実施してください。

製品を水洗いしない。

- 感電の原因になります。

パネルやファンガード等を取外した状態で運転しない。

- 回転部・高温部・高電圧部に触れると、火傷やケガの原因になります。

梱包材の処理は確実にを行う。

- 梱包材にはクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますと、さし傷等の原因になります。

ユニットの下や室内ユニット吹出口の前に濡れて困るものを置かない。

- 運転保証範囲を超える高湿度条件やドレン出口が詰まった状態で運転した場合は、室内ユニットから露が落ちる場合があります。
- 暖房時の室外ユニット（条件によっては冷房時にも）からも露が落ちますので、必要に応じて集中排水工事を実施してください。

ユニットは水平に据付ける。

- 傾いていると、水漏れや故障の原因になります。必ず水準器等で水平を確認してください。

運転を開始する6時間以上に電源を入れる。

- 通電時間が短い場合故障の原因になります。シーズン中は電源を切らないでください。

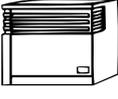
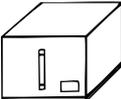
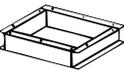
特殊環境には、使用しないでください。

- 油・蒸気が多いところや、酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用するところで使用しますと、性能を著しく低下させたり、感電、故障、発煙、発火等の原因になります。また、有機溶剤、腐食ガス（アンモニア、硫黄化合物、酸等）の雰囲気では、ガス漏れ、水漏れの原因になります。

1. 部品

この説明書のほかに、下記部品がそろっていることをご確認ください。

※②HEPAフィルターは、別途手配が必要となります。注1.を参照ください。

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
部品名	フィルターボックス	HEPAフィルター <注1>	吹出ダクト フランジ	フィルター 固定金具	壁固定金具	タッピンネジ 4X16 (本体取付用)	タッピンネジ 5X14 (フィルター 固定金具用)	ボルト、平座金 バネ座金 (壁固定金具 取付用)	シール
形状									
個数	1	41,91CLB…1 42,43,92, 93CLB…2	1 (フィルターボックス 底面に仮止めしてい ます)	41,91CLB…1 42,43,92, 93CLB…2	2	41,91CLB…10 (+予備3) 42,92CLB…16 (+予備3) 43,93CLB…18 (+予備5)	41,91CLB…1 42,43,92, 93CLB…2	各4	1

注1.HEPAフィルターは別売部品となっておりますので、別途手配が必要です。

フィルターユニット形名	HEPAフィルター形名
PAC-CF41CLB, PAC-CC91CLB	PAC-CF31CLF
PAC-CF42CLB, PAC-CC92CLB	PAC-CF32CLF
PAC-CF43CLB, PAC-CC93CLB	PAC-CF33CLF

※必ず製品本体は電源を切り、安全のために軍手等保護具を着用のうえ、実施してください。

2. 取付上のご注意

- HEPAフィルターは傷付防止、汚れ防止のため、最終組込時まで梱包から出さないようにしてください。
また、取扱いには十分注意を払い、濾材、シール材を痛めないようにしてください。
- フィルターボックスをパッケージエアコン本体に載せる際は、エアコン本体上部のシール材を破らないように十分注意してください。
- フィルターサインのシール（運転可能範囲を示す）は、HEPAフィルターの交換時期を知るために重要なものです。
工事完了まで大切に保管し、試運転時に所定の位置に貼り付けてください。
(3-7.フィルターサインシールの貼付けを参照してください。)

3. 取付要領

3-1. プーリの交換

- 技術マニュアル等により希望する風量・静圧にあわせてプーリ・ベルトの選定・交換を行ってください。

●交換要領……図1・図2

- 1) 吸込グリル④、前パネル上③（取付ネジ2本）を取外してください。
- 2) 送風機用プーリ①、ベルト②を交換してください。
- 3) プーリのセットネジは2) 項で取外したネジを流用してください。

なお、プーリの取付け・ベルトの張り調整については、別売静風圧部品およびパッケージエアコン本体の据付説明書にしたがって実施してください。

[参考] 下表の全静圧にてご使用の場合は表にしたがって設定ください。

スライドピースのまわし回転数は技術マニュアル等を参照してください。

スライドピースのまわし回転数は左側にまわきったところを起点としたときの回転数を示します。

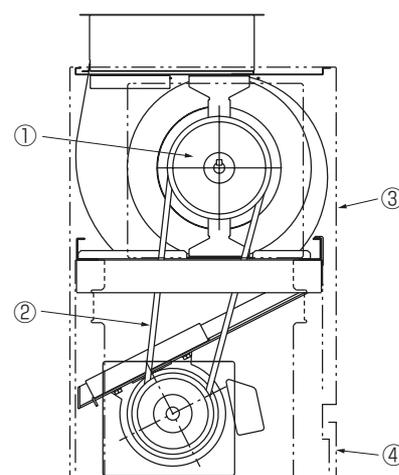


図1

	標準風量 (m ³ /min)	全静圧 (Pa)	モーター側プーリ		ファン側プーリ	ベルト サイズ	モーター形名
			別売形名	スライドピース のまわし回転数			
CF41CLB, CC91CLB (50Hz)	45	493	PAC-CT09MP	3・1/4	PAC-CT03SP	A50×1本	PAC-CJ63MR
CF41CLB, CC91CLB (60Hz)	45	493	PAC-CT09MP	4・3/4	PAC-CT04SP	A51×1本	PAC-CJ63MR
CF42CLB, CC92CLB (50Hz)	70	565	標準	1・1/2	PAC-CT03SP	A50×1本	標準
CF42CLB, CC92CLB (60Hz)	70	565	標準	3	PAC-CT04SP	A51×1本	標準
CF43CLB, CC93CLB (50Hz)	90	615	PAC-CT10MP	2・1/2	PAC-CT03SP	A51×1本	PAC-CJ64MR
CF43CLB, CC93CLB (60Hz)	90	615	PAC-CT10MP	4	PAC-CT04SP	A52×1本	PAC-CJ64MR

3-2.吹出ダクトフランジの交換……図2

- フィルターボックス①の底面に仮止めしている吹出ダクトフランジ③を取外してください。
(CF41、42CLB……ネジ4本, CF43CLB……ネジ6本)
(CC91、92CLB CC93CLB)
- パッケージエアコン本体の吹出ダクトフランジを取外し、先に取外したフランジ③と交換してください。…取付けネジは前項で取外したネジを流用してください。※取外した本体の吹出ダクトフランジは不要です。
(CF41、42CLB……ネジ6本, CF43CLB……ネジ8本)
(CC91、92CLB CC93CLB)

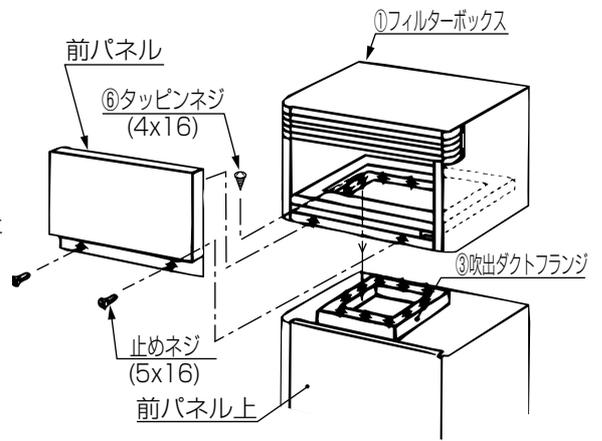


図2

3-3.フィルターボックスの取付け……図2

- フィルターボックス前パネル下部の止めネジ（2本）を外し、前パネルを外してください。
- パッケージエアコン本体上部フランジの穴位置とフィルターボックス下面の穴位置を合わせて、フィルターボックスを載せてください。
注〔パッケージエアコン本体上部フランジのシール材を破らないように注意してください。〕
- 付属のタッピンネジ⑥を利用してフィルターボックスを固定してください。
(CF41CLB…10カ所, CF42CLB…16カ所, CF43CLB…18カ所)
(CC91CLB CC92CLB CC93CLB)

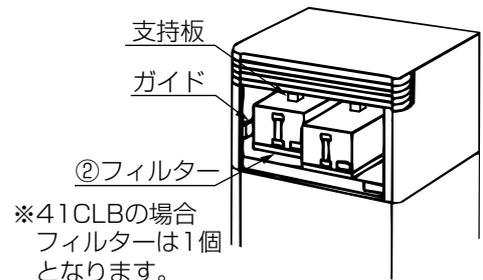


図3

3-4.HEPAフィルターの装着……図3・図4

- HEPAフィルター②のシール面を下にしてフィルターボックスの奥まで完全に入れてください。
注〔HEPAフィルター②をフィルターボックス上部の支持板に当てないように注意してください。〕
- HEPAフィルターは、左右両端のガイドに沿うように静かに入れ、そのあと均等な位置にくるよう修正してください。
- HEPAフィルターは、フィルター上部の支持板のネジ穴に固定金具④にてフィルターを押さえるように取付けてください。
- 付属のタッピンネジ⑦を利用して締付けてください。
注〔固定金具は、支持板およびHEPAフィルターとの間に隙間がないように取付けてください。〕

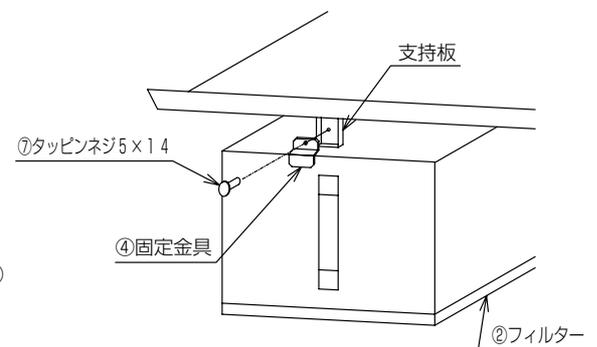


図4

3-5.壁固定金具の取付け……図5

- (ユニットの転倒防止のため、必ず壁固定金具を取付けてください。)
- 付属部品の壁固定金具⑤、ボルト、平座金、バネ座金⑧を用いて、図のように取付けてください。
 - 壁面とユニット背面との距離は50mm～100mmの間で調節し、アンカーボルト（現地手配）にて固定してください。

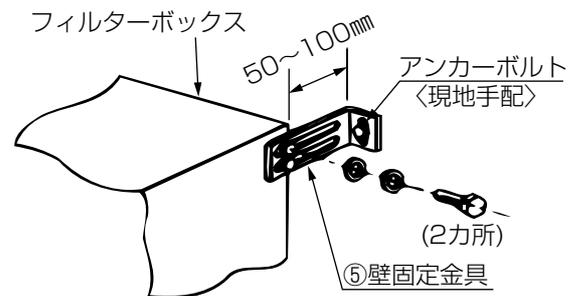


図5

3-6. フィルターサイン用静圧ゲージの調節……図6

- 前パネルを元通りに取付け、ルーバをすべて水平状態にし、パッケージエアコン本体のファンを運転してください。

注 前パネルはルーバ下方の金具にしっかりと引っ掛け、押しながら
 下方へ引っ張り、シール部に隙間ができないようにして止めネジ
 で固定してください。

- 静圧ゲージの0点調整ネジを回して、初期運転状態でのゲージ指針をOPa側に近付けるように調整してください。

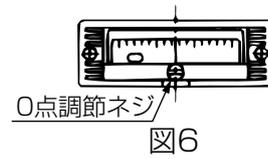
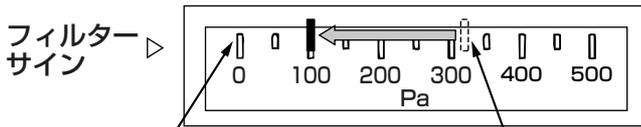


図6



運転初期
指針位置

ゲージ指針をゲージ下にある
0点調整ネジで0点側に調整
してください。

ゲージ指針

HEPAフィルター組込み運転を行ってください。
指示値が大きくなります。
ゲージ指針は空気の乱れにより多少
振れますが異常ではありません。

3-7. フィルターサインシールの貼付け

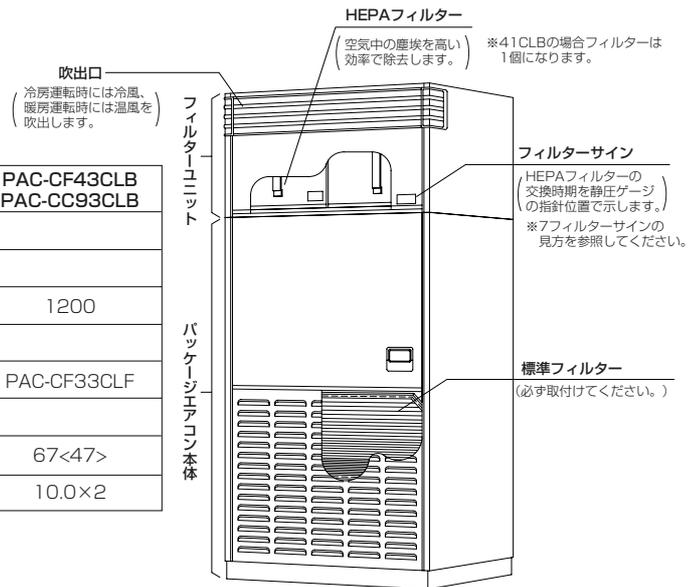
- フィルターの交換時期は据付時の初期風量により異なります。7ページに示す線図で、ご使用になる機種、風量より交換時期の圧損 (Pa) を読み取ってください。その値がフィルターの交換時期ですので、付属のシール⑨ [▼交換時期] を運転初期の値に加算した交換時期の目盛に合わせて貼り付けてください。

※据付時の初期風量は標準風量以上でのご使用を推奨します。初期風量が少ないほど交換時期が早くなります。

4. フィルターユニット各部の名称と仕様

●主な仕様

項目	形名	PAC-CF41CLB PAC-CC91CLB	PAC-CF42CLB PAC-CC92CLB	PAC-CF43CLB PAC-CC93CLB
外装色		マンセル5Y 8/1		
外形寸法	高さ mm	710<製品組込時700>		
	幅 mm	760	980	1200
	奥行 mm	485		
エアフィルター	形名	PAC-CF31CLF	PAC-CF32CLF	PAC-CF33CLF
	集塵効率 %	D. O. P. <0.3μ>99.97以上		
製品質量<フィルター取外時>	kg	46<33>	56<40>	67<47>
エアフィルター質量	kg	13.0	8.0×2	10.0×2



5. 使用上のご注意

- 吹出口やパッケージエアコン本体の吸込グリルの前面をふさがらないでください。風の流れを妨げると冷暖房効果、空気清浄効果が低下します。
- フィルターユニットに内蔵されるHEPAフィルターは非常に効率の高いフィルターです。そのため濾材やシール材に僅かのキズが付いても重大な欠陥となりますので吹出口から異物を入れたり、濾材に直接手を触れることがないようにご注意ください。
- 長時間の運転によりHEPAフィルターが目詰まりしますと風量が低下し、パッケージエアコンの運転に支障が生じます。週に1回程度フィルターサインにて、目詰まり状態を確認してください。また、年に1回程度フィルターの状態を点検してください。
なおHEPAフィルターの清掃、再生は出来ません。
- 標準フィルターは週に1回程度点検、清掃してください。(清掃の方法はパッケージエアコンの取扱説明書をご覧ください) 清掃を怠りますと風量が減少し、冷暖房効果、空気清浄効果が低下し、そのまま放置しますと故障の原因となります。またフィルターユニット内のHEPAフィルターの寿命にも影響を及ぼしますのでご注意ください。
- 油の含まれる環境中でご使用になると、HEPAフィルターが変色劣化する場合があります。定期的に点検を行い、変色劣化が認められた場合にはフィルターの交換を実施してください。

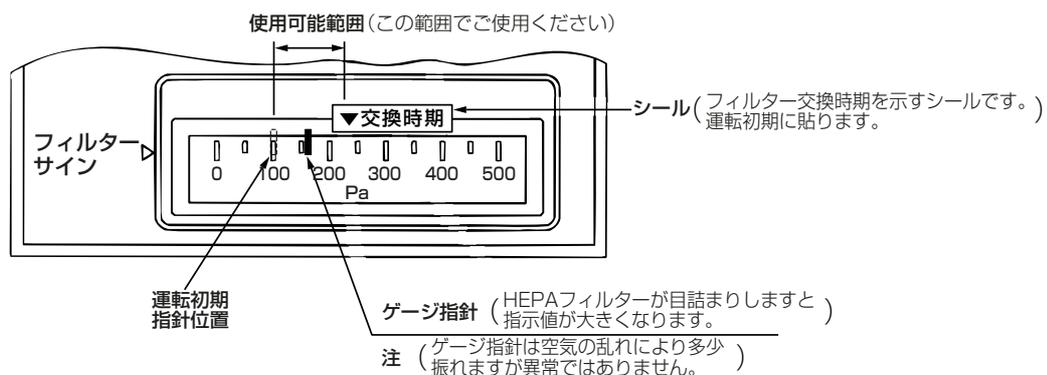
6. お手入れ

- パネルの清掃
中性洗剤を柔らかな布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭き取ってください。
ベンジン、シンナーは使用しないでください。

7. フィルターサインの見方

- フィルターサインでHEPAフィルターの交換時期を知ることが出来ます。
ゲージ指針が交換時期以下であることを確認してください。
- ゲージ指針が交換時期を超えたら新しいHEPAフィルターと交換してください。
交換時期を超えたまま運転を続けると、故障の原因となります。
- HEPAフィルターのご注文は当社販売店もしくは三菱ビルテクノサービス(株)へご連絡ください。
注 フィルターサインはパッケージエアコン本体のエアフィルターが汚れている場合には、正確な検知が出来ません。

<フィルターサイン窓口>



機種ごとの、据付時の初期風量に対する、交換時期の圧損を下のグラフに示します。
 グラフより、交換時期の圧損(Pa)を読み取って、**▼交換時期** シールを貼り付けてください。
 据付時の初期風量が標準風量時のフィルター交換時期の圧損を下表に示します。

機種	交換時期の圧損
PFAV-P140,PFTK-P125	42Pa
PFAV-P224,PFTK-P200	74Pa
PFAV-P280,PFTK-P250	65Pa

